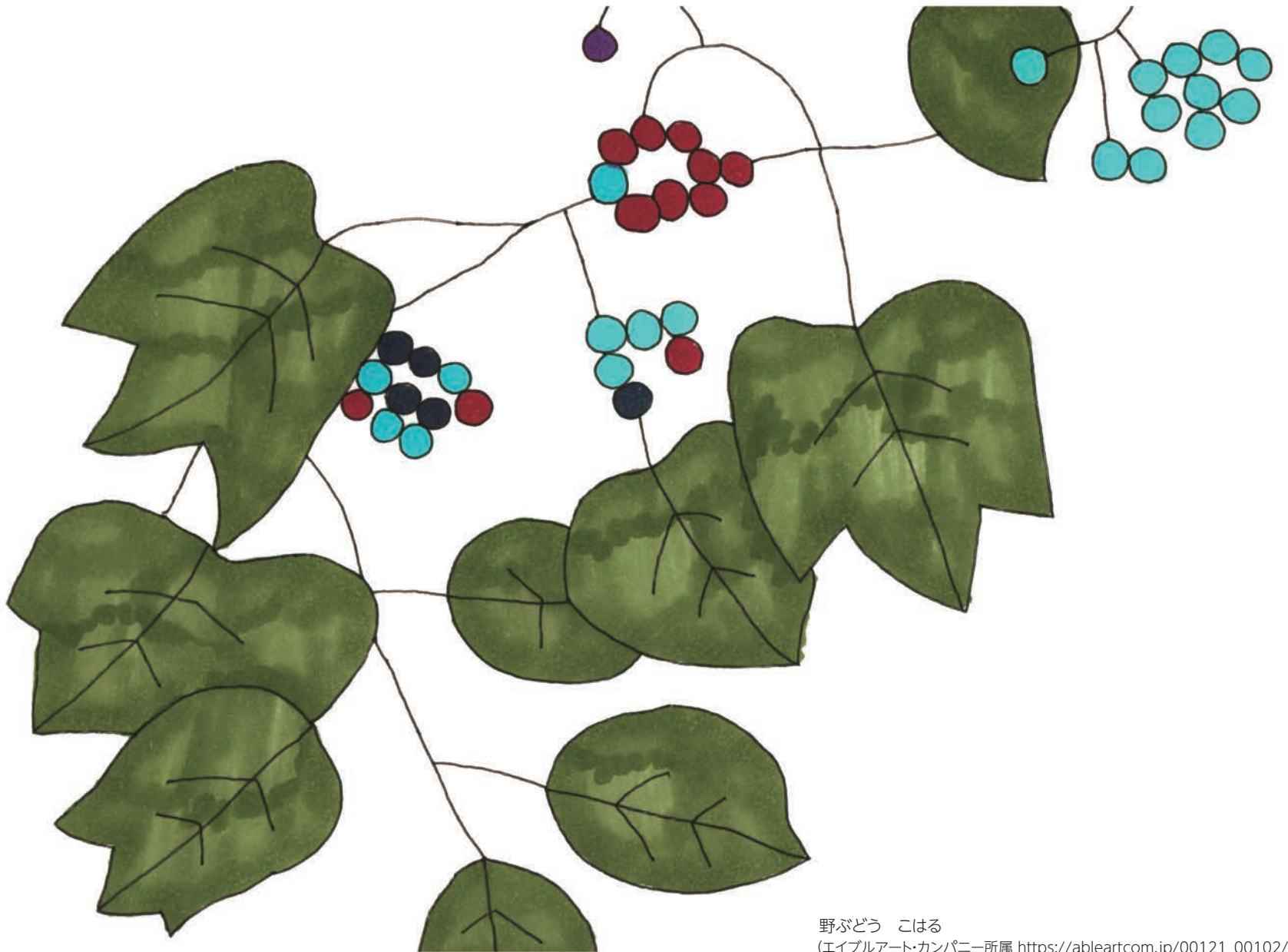


BELIEVE

BELIEVE

2025
秋号
VOL.94

BELIEVE



野ぶどう こはる
(エイブルアート・カンパニー所属 https://ableartcom.jp/00121_00102/)

特集

「脊椎センター」と「人工関節センター」を新たに開設しました!

シリーズ 情熱の白衣 医師の素顔⁹⁴ / 看護師レポート

整形外科部長 川合 準 JUN KAWAI / 看護係長 中西 庸子

食だより〈秋〉 オリーブときのこのマリネ / お薬ミニ知識 お薬の名前あれこれ
がん診療センターからのご案内 / かかりつけ医をもちましよう
シエラレオネから、当院に研修員の方が来られました / Topics Box ニュース&イベント



日本医療機能評価機構
認定第 JC885 号



を新たに開設しました！

令和7年(2025年)7月

開設しました。各専門医が高い安全性と精度を追求し、治療にあたります。



New Topics 1

脊椎センター

当センターでは、一般的な椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症をはじめ、成人脊柱変形に対する専門的な治療に注力しています。また、近年増加している骨粗鬆症による椎体骨折などの治療も行います。



脊椎センター長
兼 整形外科部副部長
堤 良祐

■せぼね(脊椎)に問題がある？

年齢を重ねると、「腰が痛い」「背中が曲がつてきた」「手足がしびれる」などの症状を感じる方が増えてきます。こうした不調は、せぼねに原因があることも少なくありません。せぼねは、体を支える「柱」であると同時に、手足を動かす命令を伝える「神経の通り道」でもあります。そこに異常が起きると、立つ・歩く・物を持つといった日常の動作が思うようにできなくなり、生活の質が大きく下がってしまいます。実際に日本では、65



歳以上の約4割が脊椎由来の痛みや運動障害を経験しているという報告があります。また、高齢者の骨粗鬆症によるせぼねの骨折(椎体骨折)は年間10万人以上のほり、寝たきりや要介護の原因にもなっています。せぼねの健康を守ることは、健康寿命

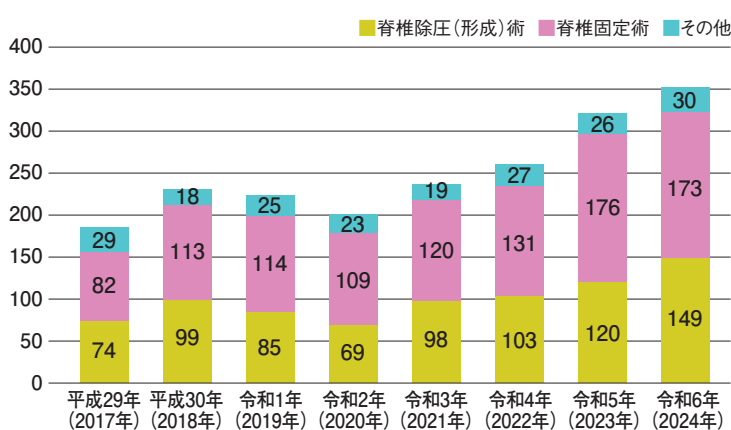
■せぼね(脊椎)の病気の症状と治療

を延ばし、元気に長生きするためにとっても大切なことなのです。

せぼねに問題が起これると、頸部痛・腰痛だけでなく、さまざまな不調があらわれます。たとえば、背中が丸くなり、まっすぐ立てない・手や足へ放散する痛み・歩くと足がしびれて休みたくなる・お箸やボタンかけがうまくできない、など、症状は全身の多岐に及びます。

治療は、コルセット固定、お薬の内服、運動療法、ブロック注射といった保存治療から始めるのが一般的で、多くの方はこれで症状が改善します。しかし、強い痛みで日常生活が送れないときや、手足の麻痺が進み放置すると後遺症が残るようなときには、手術治療が必要になります。当センターでは、患者さんの年齢、症状、日常生活レベルに合わせて、その方に適した手術を検討し、行っています。一般的な椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症などの手術はもちろん、難治症例の多い、骨粗鬆症による椎体骨折手術や、成人脊柱変形の矯正手術など、幅広い疾患に取り組んでいます。また、糖尿病や心臓病、

脊椎手術件数



透析など、持病のある方でも、病院内の各科と連携しながら安全に治療を進めています。

「年だから仕方ない」とあきらめず、「ちよつと気になるな」という段階で早めに相談していただくことが、病気や骨折の早期発見になり、健康寿命を延ばす第一歩となります。気になる症状がある方は、まずかかりつけ医に相談していただき、そこから当院にご相談いただければと思います。



「脊椎センター」と「人工関節センター」

高齢化社会に伴い整形外科の分野において、「脊椎センター」と「人工関節センター」を新たに



人工関節センター

当センターでは、変形性関節症や関節リウマチなどへの治療として、股関節(THA)、膝関節(TKA、UKA)、肩関節(TSA、RSA)の人工関節手術を行います。



人工関節センター長
兼 整形外科部長、
兼 リハビリテーション科部長
川合 準

■当センターの特徴

① 周術期の合併症をできるだけ減らすために、手術前に全身状態の評価を十分に行い、総合病院の利点を活かして他の診療科と

密に連携をとって手術を行います。

② 安定した長期成績を達成するために、できるだけ正確

な位置に人工関節を設置することを心がけています。そのためにコンピューター画像による3次元術前計画(図1)、ARナビゲーション(図2)、術中イメージなどの最新の医療機器を使用しています。

③ 周術期の痛みをできるだけ少なくするために、筋肉や関節包靭帯を切除しない低侵襲手術(MIS)、神経ブロックや各種鎮痛薬を積極的に使用しています。その結果、円滑なリハビリテーションが可能となり、術後早期の回復につながります。

④ 創部の整容性を向上させるために、できるだけ小さな皮膚切開で手術を行っています。特に股関節は横切開で行っています。

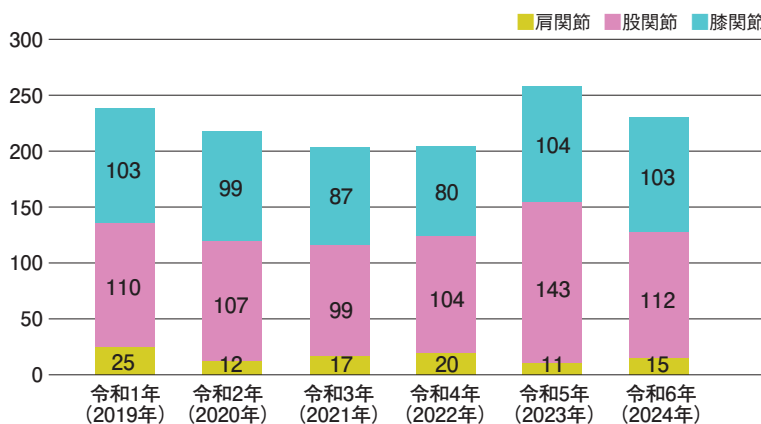


▲図2 ARナビゲーション

⑤ 可動域訓練、筋力強化訓練、歩行訓練など、退院後の生活動作を想定した専門的なリハビリテーションを実施しています。手術後約2週間で退院となりますが、リハビリ継続をご希望の患者さん、退院困難な患者さんについては、連携病院に転院して

高齢化社会の到来により、人工関節手術は今後も増加することが予想されています。当センターでは引き続き、最新の知見に基づく安全な医療を提供していきたいと考えています。地域の皆さまの機能回復のため、スタッフ一同力を合わせて取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

人工関節手術件数



十分回復するまでリハビリを継続していただいています。



患者さんの「より良く」をめざして、人工関節のスペシャリストへ。

整形外科部長 兼リハビリテーション科部長 兼人工関節センター長 川合 準



視野を広げ、アンテナを立て、スキルや知見をアップデートする。

「進化をやめたら終わり。それが、私たち医師の宿命だと思っています。淡々とした口調が、かえって芯の強さを感じさせる川合医師。新人の頃よりもむしろ中堅になってから、他の手術見学や海外での手術トレーニングに進んで参加。最新の施術方法や器具について、スキルや情報を更新するようになったという。「もちろん他の診療科も日々進歩していると思いますが、とくに人工関節の手術に関しては、この十数年で驚くほどのイノベーションがあったので」。

「進化をやめたら終わり。それが、私たち医師の宿命だと思っています。淡々とした口調が、かえって芯の強さを感じさせる川合医師。新人の頃よりもむしろ中堅になってから、他の手術見学や海外での手術トレーニングに進んで参加。最新の施術方法や器具について、スキルや情報を更新するようになったという。「もちろん他の診療科も日々進歩していると思いますが、とくに人工関節の手術に関しては、この十数年で驚くほどのイノベーションがあったので」。

「整形外科へ。実際はそう簡単ではなかったけれど、見習い期間を経て執刀医として経験を重ねつつ、「自分でできること」を模索していった。「整形外科といっても、脊椎やスポーツ整形など、専門分野はさまざま。多くの症例に向き合うなかで、得意な分野を見つけてるんです」。川合医師の場合、それが人工関節だった。「気持ちの上でもピタリでしたね。術前は痛みで思うように動けなかった患者さんが、術後は自由に身体を操れるようになる。その、良くなった！という実感がうれしくて」。

兵庫県出身。平成3年(1991年)京都大学医学部卒業。同大学大学院医学研究科を修了後、松江赤十字病院(島根県)に赴任。松江市内の玉造厚生年金病院(現JCHO玉造病院)に異動後、同院整形外科部長、統括診療部長兼人工関節センター長を経て副院長に。令和7年(2025年)4月より当院整形外科部長、兼リハビリテーション科部長に着任。同年7月より人工関節センター長を兼任。



関西に戻り、阪神ファン同志の息子と通いやすくなった甲子園を満喫。

看護師レポート 94 YOKO NAKANISHI

大阪府出身。平成13年(2001年)大阪赤十字病院に入職。整形外科をはじめ、多数の診療科を経験し、平成22年(2010年)より看護係長に。令和5年(2023年)より再び整形外科を担当。



看護係長 中西 庸子

小さな気づきや心遣いの大きさを、先輩や患者さんから教わった。

「人の役に立ちたい」「自立した女性として生きたい」と、将来のことまで深く考えて選んだ看護職。入職後はベテランの先輩方から多くのことを教わり、ときには「厳しい」と思う指導を受けることもありましたが、あの頃に得た気づきや身についてきた考え方が、今の私に力を与えています。

それは、例えば「シーツが乱れていたから、できるだけきれいに伸ばし直す」「患者さんが自分で動けないとき、髪型や身なりを整えて差しあげる」といった些細なこと。優先すべき業務に追われてつい見過ごしがちですが、患者さんやご家族の心を和らげるために大事な心遣いです。指導の際に先輩が仰っていた、「患者さんの身になって考えてみて」の言葉とともに、胸に刻まれています。



趣味は野球観戦。なんと部長と同じ球団ファンであることが発覚!

病院に長くおられる患者さんは、看護師の一挙一動に意識が向きやすく、それゆえにお叱りを受けることもあれば、感謝の言葉をいただけることもあります。私自身、まだ慣れない若手の頃に、「よくがんばってるよ」と患者さんから励ましてもらった思い出が。また、病状だけでなく日常的な会話を心がけることで、「話すのが楽しい」と喜んでもらえることも。患者さんに心を救われ、助けられ、ここまでやってこられたという思いがあります。気づけば看護係長という役職で十数年、これからは先輩方の教えに自身の経験を重ねて、自分なりの「心かよう看護」を若い皆さんに伝えていきたいと考えています。



食だより

・栄養管理課 管理栄養士 上田 真未

秋 オリーブときのこのマリネ

オリーブは香川県で多く栽培されており全国の収穫量の9割近くを占め、小豆島は国産オリーブ栽培発祥の地とされています。日本では秋から冬にかけて旬を迎えます。

オリーブの実の色の違いは、品種ではなく、成熟度によるものです。

若いうちは緑色をしています、徐々に紫色となり、最終的には黒色になります。緑色のオリーブは渋みが強いのに比べ、黒色まで成熟

すると甘味があり、まろやかになっていきます。そして、成熟度によって含有量の違いはありますが、抗酸化作用のあるポリフェノールやビタミンE、βカロテン、オレイン酸などが多く含まれます。



※写真は1人分

オリーブの実は収穫後、塩漬けやオイルなど、さまざまな形に加工されていますので、料理に取り入れやすい食材です。今回は、オリーブを使用したレシピを紹介するので、ぜひお試しください。

■栄養成分(1人分)

| | |
|-------|---------|
| エネルギー | 200kcal |
| たんぱく質 | 1.5g |
| 脂質 | 16.5g |
| 炭水化物 | 12.7g |
| 食塩相当量 | 1.6g |

きのこの種類は
お好みでお選びください。

材料(2人分)

- しめじ.....20g
- まいたけ.....20g
- マッシュルーム.....20g
- しいたけ.....20g
- エリンギ.....20g
- オリーブ(種抜き・スライス).....20g
- オリーブオイル.....大さじ2
- 酢.....大さじ2
- 砂糖.....大さじ1
- 塩.....小さじ1/2
- こしょう.....少々

作り方

- しめじ、まいたけは石づきを切り落とし、手でほぐす。マッシュルーム、しいたけは軸を切り落とし、薄切りにする。エリンギは2~3cm程度の食べやすい大きさに切る。
- 耐熱容器に①を入れ、ラップをかけて全体がしんなりするまで500Wの電子レンジで2分程度加熱する。レンジから取り出し、粗熱がとれたら、ペーパータオルなどで水気を切っておく。
- ボウルにオリーブオイル、酢、砂糖、塩、こしょうを入れ混ぜ合わせ、マリネ液をつくる。
- ③にオリーブと②を入れ、全体がなじむように和え、冷蔵庫で冷やす。

POINT マリネ液はきのこ類が温かいうちに和えると、味がしみこみやすくなります。

お薬

ミニ知識



薬剤部
調剤課
調剤連携係長
山本 崇

お薬の名前 あれこれ

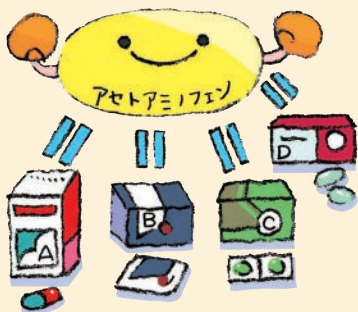
先日テレビで、「宅急便」はヤマト運輸のサービス商標で、一般的な名称は「宅配便」であることを知りました。他にも、「セロテープ」「シーチキン」「万歩計」「エレクトーン」など、当たり前前に使っている商品名は意外と多いのではないのでしょうか。

医薬品の世界にも商品名と一般名があります。例として、熱や痛みを抑えるアセトアミノフェンは一般名ですが、あゆみ製薬が製造するアセトアミノフェン製剤の商品名は「カロナール」です。名前の由来は「熱や痛みがとれて軽く、楽になる」という意味で、「カロナール(なる)」と命名されたそうです。一方で、久光製薬の「アルピニー坐剤」、ヴィアトリス製薬の「アンヒバ坐剤」、テルモの「アセリオ静注液」もアセトアミノフェン製剤であり、会社によつてさまざまな商品名が付けられています。薬局で購入できるお薬として、「タイレノール」などもよく知られています。

とてもややこしいのですが、紛らわしい名前であれば、基本的には販売する会社が独自に決めることが可能です。とはいえ、さまざまなお薬の名前が乱立するのは安全上好ましくないことから、平成17年(2005年)に厚生労働省から通知が出され、後発医薬品は、「有効成分名+剤形+含量+会社名」で統一されることになりました。

ちなみに、カロナールのように効能効果から名付けられたお薬は他にもあります。例えば、血圧を下げるお薬であるアムロジピンの商品名として「ノルバスク」というお薬がありますが、「Normalize Vascular(血管を正常化させる)」の頭文字をとって「Norvasc(ノルバスク)」と命名されました。「リマチル」「リウマトレックス」はその名前から想像できるように、リウマチの治療薬です。下剤である「ヨーデル」は「よう出る(関西弁?)」かと思いきや、スイスのヨーデルの爽やかさをイメージしているそうです。

このようにお薬の名前は複雑で、名前が違うので別のお薬だと思っていたら同じだった、なんてことがあります。飲んでいるお薬については医師や薬剤師に正確に伝えてください。



がん診療センター からのご案内

がん診療サポート
部門

vol.1

患者さんと家族に寄り添い、
最適・最善のがん診療を、
医療チームで支えます。

がん相談支援センター

本館2階 患者相談窓口

TEL:06(6774)5152 FAX:06(6774)5126
syakaika@osaka-med.jrc.or.jp

がん診療センターとは

当院がん診療センターは、国の指定による地域がん診療連携拠点病院として、がん診療を病院の中核事業と位置づけ、がん診療に求められる総合的な診療体制やチーム医療を充実させ、横断的な対応ができるよう、がん診療を統括する目的で設置されています。がん診療部門、遺伝診療部門、がんゲノム医療部門、緩和ケア部門、がん診療サポート部門、がん登録・統計部門の6部門から構成されています。今号より、各部門からさまざまな内容をお伝えしていきます。

がん診療サポート部門

「がんサロン」〜クロスカフェ」を ご存知ですか

「がんになった。同じようにがんに向き合っている人の話を聞いてみたい」「家族が

がんになったがどんな風に声をかけていいのか悩む。がん患者本人の気持ちを聞いてみたい「こんなことを思われた経験はありませんか。当院では、「がんサロン」〜クロスカフェ」を定期的に開催し、当院にかかっているがん患者さんとそのご家族が集まって交流する場を提供しています。

年4回（6月・9月・12月・3月の第1水曜日）11時から12時に、当院2階ボランテニア室にて開催しています。開催時期については、変更となる場合があります。日程や詳細は、院内掲示ポスターや当院ホームページなどにて案内しています。

毎回、3名から5名程度の申し込みがあり、複数回参加されている方もいれば、初参加の方もおられます。がん患者さんご本人の参加が多いですが、ご家族の参加もあります。「個人の気持ちや意見を尊重する」「お互い聞き上手になる」といった、サロンのルールを皆さん守って和やかな雰囲気の中で交流されています。また、参加される方全員が安心して交流・対話できるよう、サロンにはがん診療サポート部門の相談員もファシリテーター（中立的な立場で話の流れを整理したり進行したりする役割）として参加しています。

参加された方からは、「自分の気持ちを家族以外の人に聞いてもらって気持ちがあほころんだ」「明るい前向きな気持ちになった」といった感想をいただいています。

がん患者さんとそのご家族にとって、ほっと息つける場であり続けられるよう、今後も引き続き開催していきます。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



かかりつけ医 をもちましょう

病院と診療所がその機能や役割を分担しながら、患者さんに適切な医療を提供することが求められています。自分のことをよく知っていて、ちょっとした病気やケガの診察や相談ができる「かかりつけ医」をもちましょう。

かかりつけ医

日ごろの健康管理
専門的な治療が
必要なら当院へ紹介

紹介

逆紹介

大阪赤十字病院

高度医療・専門医療
症状が安定したら再び
「かかりつけ医」へ

おおば内科クリニック

内科・循環器内科

- ・院長/大庭 宗夫
- ・住所/大阪市東成区大今里西2-16-9 2階
- ・電話/06-6971-2910
- ・往診/有 ・訪問診療/有
- ・リハビリ/無
- ・診療時間

| 外来 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----------------|---|---|---|---|---|---|
| 午前 8:30~12:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 午後 17:00~19:00 | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | △ |

■休診日/日曜日、祝日



▲大庭院長



▲院内

【特長】当院は令和6年5月に東成区民センター前に移転開業しました。循環器専門医、心臓リハビリテーション指導士としての知識を活かし、心不全、狭心症、心筋梗塞、弁膜症、不整脈などの循環器疾患、その原因となる高血圧、糖尿病、脂質異常症の管理を積極的に行っています。また機能強化型在宅療養支援診療所でもあり、地域のクリニックや病院と連携し、訪問診療にも力を入れています。終末期の方の看取りも可能です。

【地域の皆さまへ】当院ではレントゲン、心電図、超音波（頸動脈、心臓、腹部、末梢血管）、動脈硬化検査、ホルター心電図、睡眠時無呼吸検査、呼吸機能検査が可能です。生まれ育った愛着のある地域の皆様が、生涯を通じて健康に過ごせるよう、患者様に応じた医療の提供に努めています。地域の行事にも出来る限り参加させていただき、交流をもつよう努めています。どんなことでもよいのでお気軽にご相談ください。

加納医院

内科・小児科・消化器内科

- ・院長/加納 東彦
- ・住所/大阪市中央区玉造1丁目11-3
- ・電話/06-6762-3618
- ・往診/無 ・訪問診療/無 ・リハビリ/無
- ・診療時間

| 外来 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----------------|---|---|---|---|---|---|
| 午前 9:00~12:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 午後 16:00~19:00 | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | △ |

■休診日/日曜日、祝日



▶加納院長



▲外観

【特長】当クリニックは、先代の父が内科・産婦人科の診療所として開院して以来、約70年にわたり地域の皆さまの健康を支えてまいりました。平成21年に私が引き継いでからは、内科、小児科、消化器内科を標榜し、専門性を高めています。肝臓専門医、消化器専門医としての知識と経験を活かし、肝臓や消化器疾患の診療に力を入れています。特定健診や会社健診の結果を丁寧に拝見し、必要最低限の検査と服薬を心がけることで、患者さまへのご負担を減らし、最適な医療を提供できるよう努めています。より高度な検査や治療が必要な場合には、高次医療機関との密な連携により、迅速かつ適切な医療を受けていただける体制を整えておりますので安心ください。

【地域の皆さまへ】院内はフルフラットになっており、ベビーカー、シルバーカー、車椅子をご利用の方もスムーズにお入りいただけます。乳幼児から高齢者の方まで、各種予防接種も行っています。「こじんまりとしたクリニック」ではありますが、患者さま一人ひとりに寄り添ったきめ細やかで柔軟な対応を心がけ、地域に根ざした「かかりつけ医」として、皆さまの健康をサポートします。どんなことでもお気軽にご相談ください。

令和7年(2025年)7月7日~18日

シエラレオネから、当院に研修員の方が来られました



1: 集合写真(最終日) 2・3: 薬剤部にて 4: 未熟児のポジショニング演習 5: 医療機器を使った研修の様子 6: 最終プレゼンの様子

昨年に続き、今年もシエラレオネから研修員の方々が当院に来られました。
今回2回目となった研修の様子をレポートします。

●研修にあたって

7月7日~18日までの2週間、シエラレオネの小児専門の三次病院であるフリータウン小児医療センターから研修員の方々が当院に来られました。看護副部長など看護管理者の方が8名、医療機器管理を行う技師の方が1名、医療機器委員会の委員長をされている薬剤師の方が1名、総勢10名でした。

西アフリカに位置するシエラレオネは最貧国のひとつであり、5歳以下の乳幼児死亡率がもっとも高い国です。日本の5歳以下の乳幼児死亡率は出生1,000人あたり約2ですが、シエラレオネではその50倍以上の104.7となっています。小児専門の三次病院は、この小児医療センターが唯一となっています。基本的に、他の病院からの搬送を受け入れて治療するのですが、搬送が遅れたり、適切な応急的治療が行われないまま搬送されてきたりすることもあり、重症の子どもが多く入院しています。研修員は「シエラレオネの医療や看護の質を向上させるのは、自分たちの役割だ」という強い責任感を持っています。小児医療センターの看護や医療機器管理の質の向上はもちろんのこと、地方でのトレーニングのファシリテーターとしても多くの職員が出向いています。

●研修で得た多くの体験を自国で活かす

研修員は今回の研修で、できるだけ多くのことを体験し、学んで帰りたいと熱心に取り組んでいました。新生児集中治療室、小児病棟、手術室、外科病棟、医療機器管理センターや大手前整肢学園などを中心に研修しました。シエラ

レオネと日本の医療環境は大きく異なります。シエラレオネでは、日本で簡単に入手できるものもなかなか入手できません。5歳以下の子どもの治療費は無料と国策で決定しているのですが、国から割り当てられている予算は非常に乏しく、必要な薬剤や医療消耗品の購入もままなりません。また、検査の試薬も購入できないなど、ないないづくしといえます。日本で用いている医療資材を用いての点滴や胃管チューブの固定や、未熟児のポジショニングなどのデモンストレーションや演習を体験し、その技術や方法を自国でどう取り入れていくのか、現実的に何を取り入れることができるのかを真剣に検討していました。

今回一緒に来られた薬剤師の方は、薬剤部にて日本の薬剤師の役割などを見ていただきました。また、院外の調剤薬局にもご協力いただき、地域の調剤薬局の役割なども見せていただきました。シエラレオネの薬剤師の方は、多様な仕事内容とその質の高さに非常に感銘を受けておられました。入院されている患者さんにも、実際に処置やケアを見学させていただくなど多くのご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。

当院から看護師1名がシエラレオネに定期的に渡航し、現地で研修員の方々の取り組みを支援しています。昨年の研修で得た学びは、現地で徐々に形作られてきています。今年度は、さらに学びをステップアップさせ、医療・看護の質の向上につなげていきたいと思っています。



大手前整肢学園での研修の様子

news

サンリオから 車椅子の寄贈がありました



株式会社サンリオがかねてより「One World, Connecting Smiles.」のビジョンのもと実施している「Sanrio Nakayoku Project (世界中に笑顔を届ける社会貢献活動)」の一環として、サンリオキャラクターのデザインを付した車椅子47台を日本赤十字社へご寄贈いただき、当院に1台整備されました。

サンリオの「小児医療に役立ててほしい」という意向に基づき、小児病棟である8階B病棟に設置しています。



event

第15回 親と子の防災体験セミナー 「災育(さいいく)」を開催します

「災育」は親子で参加できる防災体験イベントです。

開催日時は12月7日(日)10:30~15:00。小学4~6年生とその保護者250組程度を募集します。参加費無料。申込開始は10/1(水)からです。下記のURLまたはQRコードより申し込み可能です。

今回、初めて冬に開催します。昨年は260組の申し込みがあり、応急手当や避難所体験が好評でした。今年も起震車や白パイ、自衛隊車両の展示、VR体験などを予定しています。家族で楽しみながら「もしも」に備えましょう。詳細は病院ホームページをご確認ください。皆さまのご参加をお待ちしています。



▲昨年度の災育の様子

参加受付申し込み
はこちらから



<https://forms.gle/SWQAR2ouQJEXN4iV9>

event

セプテMBERコンサートを開催しました

9月6日(土)、定例イベント「セプテMBERコンサート」を開催しました。今回は三部構成で、第一部では当院の畔柳薬剤師が所属するアンサンブルグループ『miniDra』の皆さんに、「スペクタキュラー・ディズニー・メドレー」や「いのちの歌」、「EARTH BEAT~大地の鼓動」、「エンターテイナー」をエレクトーン、ピアノ、アルトサクソで、多くの方々の心に響く素敵な演奏を披露していただきました。



遥ゆきさん



キタノ大地さん

第二部では、日本赤十字社大阪府支部芸能奉仕団のキタノ大地さんによる「マジックショー」で、お子さまからお年寄りまで驚きと感動を届けていただきました。



アンサンブルグループ『miniDra』

第三部では、同支部芸能奉仕団の遥ゆきさんによる歌謡ショー。昭和の懐かしいメドレーなどを披露していただき、笑顔と手拍子が会場を包みました。

■ 次回の定例イベントはスプリングコンサートを予定しています。ぜひご来場ください。(詳細は当院公式Instagram、LINEなどでお知らせします。)

放射線治療科

放射線治療用リニアックが 更新されました



放射線治療機器「リニアック」が更新され、リニアック室の内装も新しくなり、より快適に放射線治療を受けていただけるようになりました。また、治療計画専用CTの導入により撮影の待ち時間が大幅に短縮され、患者さんの負担が軽減されます。

新機能としては6軸ベッドを導入、脊椎転移に対する定位照射ができるようになりました。少ない数の転移に限定されますが、2-5回の照射で大線量を投与できるため、通院回数を減らしながら同時に疼痛緩和や局所制御が得られやすくなります。多発性脳転移に対してはハイパーアークを導入。今まで院内でできなかった脳転移に対する定位照射により、副作用が少なく腫瘍縮小効果の高い治療ができます。今まで以上に患者さんにやさしく、より効果の高い放射線治療を提供していきます。

■ 放射線治療科

大阪赤十字病院の理念

わたしたちは
人道・博愛の赤十字精神に基づき
すべての人の尊厳をまもり
心のかよう高度の医療をめざします

患者さんの権利

1. 一人の人間として、人権をまもられる権利があります
2. 良質かつ適切な医療を、公平に受ける権利があります
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利があります
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利があります
5. プライバシーがまもられ、個人情報保護される権利があります
6. 自己の診療録等の医療情報の開示を求める権利があります
7. 他施設の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります

LINE

友だち登録してね



随時配信中!

Instagram

フォローしてね



病院のご案内

- 受付時間(月~金) (診療開始は午前8:45からです)
初診/月曜日~金曜日 8:30~11:30 再診/月曜日~金曜日 8:00~11:45
- 休診日 土・日・祝・5月1日(本社創立記念日)・12月29日~1月3日
- 診察券 診察券は全科共通で使用いたしますので、ご来院時には必ずお持ちください。
- ご面会 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部を制限しています。
- 保険証等 保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。



当院は
敷地内全面
禁煙です

ご理解とご協力をお願いいたします。

大阪赤十字病院

大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30 令和7年10月発行

■ お問い合わせ TEL:06-6774-5111 (代表)

大阪赤十字病院 <https://www.osaka-med.jrc.or.jp>

赤十字全般 <https://www.jrc.or.jp>

